

令和3年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第3回急変時対応部会を開催しました



○2月28日(月)に第3回急変時対応部会をオンラインで開催しました。参加者は、部会メンバー6名と在宅医療推進センターコーディネーター1名、事務局4名でした。これまでの活動を振り返り、最終年に向けた取組方針を協議しました。

【2年間の部会活動の振り返り】

○令和2年度

上越地域の急変時対応にかかる実情を把握し課題を明確にするため、実態調査を行いました。

○令和3年度

実態調査の結果を基に、部会委員それぞれの視点から意見交換及び情報共有を行い、現状の把握や部会として取り組むことを検討してきました。

【今回の部会の内容】

実態調査から見えた実情や課題について部会委員内での意思統一を図り、実際にどのような取組から行うのか、最終年度の方針について意見交換を行いました。

(意見交換の内容)

○実態調査結果の分析から必要と思われる取組みがいくつか挙がっているが、優先順位をつけ

ることは難しい。

○全ての「必要と思われる取組」を行えば良いが、現実的に難しいと思われる。実態調査から明らかになった「現場で上手くいっている取組」に関して共有することや、「地域連携連絡票」を始めとした既存の書式が急変時対応でも活用できることを啓発したらどうか。

○既存の書式に関しては、消防庁等でも専門職向けの物から子ども向けの物まで様々なマニュアル等が作られているため、それらも紹介していければ良い。

○市民啓発を優先するのか、医療・介護職への研修を優先するのかを考えた場合、急変時対応部会では、まずは医療と介護の連携の部分で、専門職に向けた研修会をできれば良い。

○この部会に参加しているため急変時の対応に関する現状を知ったが、医療や介護の専門職でも現状を把握していない人は多いと思う。特に救急対応はケアマネジャーにとって非常に重要な部分であるので、専門職を対象にした研修会で、実態調査の取りまとめ結果や急変時対応でも活用できる既存のツールを伝えてはどうか。

○医療と介護の現場では急変時に関する考え方に違いがあるため、研修会の中で「救急対応」について意見交換しても良いと思う。

【次年度の取組】

医療や介護の専門職向けに実態調査及び分析結果をフィードバックしながら、救急時対応に備えた心構えを持てるような場(研修会)を開催していきます。研修会の具体的な内容等は、次年度1回目の部会で検討する予定です。